WeLove あじがさわ

広報 あじがさわ

2026 10

No. 665



特集 9月2日からの大雨 被害状況と町の対応

《今月の表紙》

鯵ヶ沢の夏を彩るねぷたが町内各地で運行されました。８月15日、赤石芸能保存会が「赤石ねぷた」を運行し、21・22日には田中町ねぷたまつり実行委員会が「田中町ねぷたまつり」を10年ぶりに開催しました。２つのねぷたには多くの住民が参加し、威勢のよい掛け声を響かせながら町内を練り歩きました。

特集

９月２日からの大雨 被害状況と町の対応



９月２日から３日にかけて、町内では記録的な大雨により、住宅の浸水や道路の損壊、土砂崩れなどの被害が発生しました。町では、発災直後から被害状況の把握や応急対策、被災された方々への支援に取り組んでいます。

今月号では、主な被害状況と町の対応をお知らせします。













①② 道路の崩落や土砂崩れが相次いだ町道中村長平線／③ 土砂や倒木が流入した収穫前の水田（日照田）／④ 泥が厚く堆積した道路（館前）／⑤ 泥水に覆われ、複数の住宅が浸水した住宅地（西松島）／⑥ 橋のたもとが大きくえぐられた恩愛橋（小森）／⑦ 冠水し、路面が見えなくなった道路（舞戸）／⑧ 用水路に詰まった枝木を撤去する町職員（館前）





記録的大雨により町内各所で被害発生

９月２日未明、東北地方に停滞した前線や湿った空気の影響により、津軽地方に線状降水帯が発生しました。

鰺ヶ沢町付近では、午前３時20分までの１時間に約90ミリの猛烈な雨が降ったとみられ、３時32分に気象防災速報（記録的短時間大雨）が発表されました。その後も断続的に雨が降り続き、鰺ヶ沢観測所では、３日午後11時50分までの48時間降水量が326.5ミリに達し、観測史上最大を記録しました。

急激に降り続いた雨により、小規模河川が氾濫し、町内では住宅の床上、床下浸水が発生したほか、道路の決壊や土砂崩れ、倒木などが相次ぎました。農地や農道、林道などにも被害が広がり、町民の暮らしや地域の生活基盤に大きな影響を及ぼしました。

町では、午前３時30分に「災害警戒本部」を設置し、午前６時には「災害対策本部」へ移行。町民の安全確保を最優先に、住宅や道路、河川、農地などの被害状況の確認と応急対策にあたりました。

雨はいったん小康状態となったものの、２日夜から再び激しさを増し、町では３日未明にかけても警戒と対応を続けました。その後、被害を受けた地区では職員が各世帯を訪問し、安否確認を行うとともに、罹災証明などの申請や災害ごみの搬入について説明。４日からは申請受付と災害ごみの受け入れを開始するなど、対応は応急対策から生活再建、復旧に向けた段階へと移っています。

現在も、被害の全容把握に向けた調査が続いています。町では、国や県をはじめとする関係機関と連携し、一日も早い復旧と町民の皆さんの生活再建に向け、取り組みを進めています。

経過と町の主な対応

月　日	時　間	内　　容
9月2日	3：08	気象防災速報（線状降水帯発生）が発表される
	3：30	鰺ヶ沢町災害警戒本部を設置
	3：32	鰺ヶ沢町付近で１時間に約90ミリの猛烈な雨が降ったとみられ、気象防災速報（記録的短時間大雨）が発表される
	4：15	防災行政無線で垂直避難に関する放送を実施。以降、状況に応じた情報を随時放送
	6：00	災害対策本部へ移行。自主避難所を開設し、町立全３校を休校
	7：50	町内の道路状況を踏まえ、あじバスを全便運休
	12：00	自主避難所を閉鎖
	22：59	この日２回目となる気象防災速報（記録的短時間大雨）が発表される
9月3日	—	町職員が被災地区を戸別訪問し、安否と被害状況を確認。罹災証明書などの申請や災害ごみの搬入方法を説明
9月4日	—	罹災証明書などの申請受付と災害ごみの受け入れを開始。道路などの応急復旧を進める
9月5日	—	国土交通省の緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）が町内で活動を開始
9月8日	—	町社会福祉協議会が「鰺ヶ沢町災害ボランティアセンター」を設置

※被害状況は現在も調査中です。復旧の進捗や被災された方への支援制度については、随時お知らせします。最新情報は、町ホームページなどでご確認ください。

町HPは
こちらから

大雨により被災された皆さまへ

９月２日からの大雨により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

今回の大雨では、住宅の浸水、道路の損壊、土砂崩れ、農地の被害などが発生し、町民の皆さまの生活に大きな影響を及ぼしました。

発災直後から、消防団をはじめ町内建設業者、国・県など関係機関の皆さまには、被害状況の確認や応急復旧にご尽力いただいております。

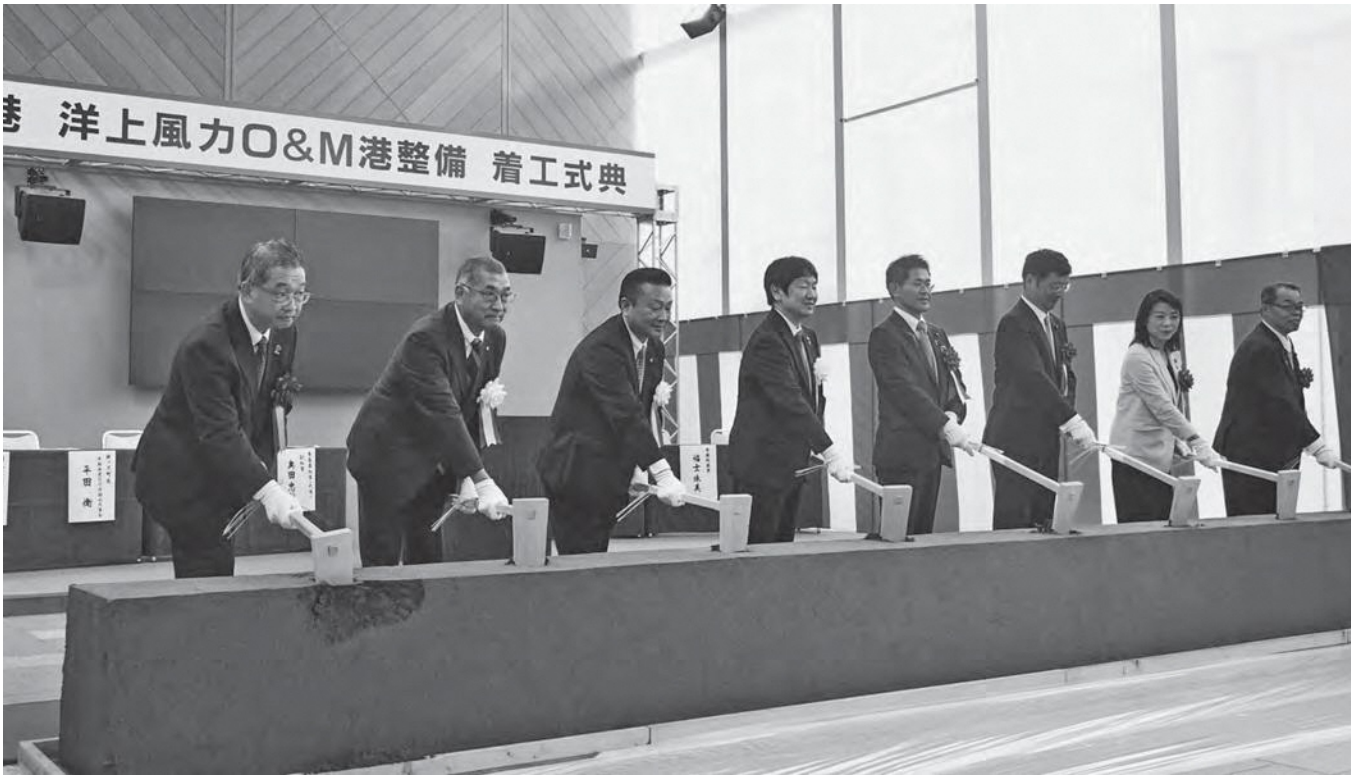
特に、住宅の浸水被害を受けた地域には、町社会福祉協議会、全国各地で活動するOPEN JAPAN（オープンジャパン）をはじめとするボランティア団体の皆さまが入り、復旧作業を力強く支援してくださっています。

また、道路・河川の被害調査についてはTEC-FORCE、農地等の被害については農林水産省の協力を得ながら、被害の全容把握に向けた調査を進めていただいております。

町では、こうした調査結果を踏まえ、今後の本格復旧に向けて、そして、被災された皆さまが一日も早く日常の生活を取り戻せるよう、必要な支援と生活基盤の復旧に鋭意取り組んでまいります。

鰺ヶ沢町長　平田　衛

津軽港　洋上風力O&M港整備　着工式典



８月31日、「津軽港洋上風力O&M港整備着工式典」が開催されました。

この式典は、津軽港がO＆M港として新たな役割を担っていく節目に、同港への理解を深め、官民一体で地域経済の活性化に向けた機運を高めるために行われたものです。式典は日本海拠点館を会場に行われ、国や自治体、事業者などの関係者約40人が出席しました。

奥田副知事は「津軽港が、青森だからこそできる洋上風力発電を支え、産業や雇用を生み出す切り札となることを期待します」と宮下知事の祝辞を代読しました。続いて、関係者８人が工事の安全を祈って鍬入れを行い、津軽三味線の演奏で着工を祝いました。

第２部では、事業概要の説明に続き、早稲田大学教授の河野真理子氏が「再生可能エネルギーとしての洋上風力の重要性と港湾の役割」と題して記念講演を行いました。その後、出席者は津軽港へ移動し、整備予定地を視察しました。

津軽港の歩み

昭和58年	津軽地域総合開発の拠点港として建設に着手
平成９年６月	「七里長浜港」として一部供用を開始
令和元年12月	「七里長浜港」から「津軽港」へ港名を変更
令和５年10月	鰺ヶ沢沖が促進区域に指定
令和６年12月	「つがるオフショアエナジー合同会社」が洋上風力発電事業者に選定
令和11年３月	O＆M港完成予定
令和12年６月	洋上風力発電の運転開始予定

●O＆M港（オペレーションアンドメンテナンス）とは？

洋上風力発電設備の運転や保守・管理を支える拠点となる港です。

作業員や資機材を運ぶ船が利用する岸壁のほか、事務所や倉庫を建てるための用地などを整備します。

●津軽港はどのように整備する？

保守・管理の拠点となるためには、波風の強い冬季にも所定の荷役稼働率を確保する必要があります。そのため、港内の陸側に接する部分を掘り込んで、岸壁や航路泊地、波除堤を整備します。

●期待される経済効果

港の整備や運転開始後の保守・管理を通じて、地元企業の受注や事業拡大、雇用の創出が期待されています。



宮下知事の祝辞を代読した
奥田忠雄副知事



祝辞を述べた
安部賢国土交通省港湾局長

8/18 花に込める平和への祈り
戦没者追悼平和祈念献花



鰺ヶ沢町戦没者追悼平和祈念献花が、舞戸公民館で実施され、遺族や関係者が献花に訪れました。平和祈念献花は、戦没者を追悼し、恒久平和を祈念することを目的に行われたものです。

8/5 アユさん　大きくなってね
園児が赤石川で放流体験



認定こども園つくしの森の園児が、赤石川でアユ約1,000匹を放流しました。園児たちは「大きくなってね」と声をかけながらアユを川へ放し、放流後は試食用に用意されたアユの塩焼きを味わいました。

9/5 干して、焼いて、味わう名物体験
第12回鰺ヶ沢イカのカーテンまつり



「第12回鰺ヶ沢イカのカーテンまつり」が海の駅わんど向かい特設会場で開催されました。来場者は、生イカを荒縄に干して炭火で焼く体験を楽しみ、できたてのイカ焼きを味わっていました。

8/22 体験航海や展示で活動を身近に
自衛隊・海上保安部・警察・消防合同催事



津軽港で、自衛隊・海上保安部・警察・消防による合同催事が開催されました。会場では体験航海や装備品展示、募集PRが行われ、来場者は説明を聞いたり、記念撮影をしたりと楽しんでいました。

大舞台での健闘を誓う　３競技の選手が出場報告

７月31日から８月６日にかけて、水泳、陸上、相撲で東北大会・全国大会に出場する選手たちが町を表敬訪問し、出場を報告しました。選手たちは、それぞれの競技での健闘を誓い、阿彦教育長らから激励を受けました。



水泳



陸上



相撲

【出場報告者】（競技別・順不同）

水泳 （鰺ヶ沢中学校）	山本漕人さん、工藤暖人さん、岩本妃生さん（３年）、岩谷あんりさん（２年）、工藤悠斗さん（１年）
陸上	吉田凛斗さん（西海小５年）、三上隼汰さん（舞戸小６年）
相撲 （舞戸小学校・丹代道場）	松木莉里さん（６年）、磯辺悠真さん、木村翔那斗さん、松江璃堵さん、葛西海さん（５年）、葛西航さん（３年）、中村心珀さん（２年）

令和７年度 決算報告

令和７年度の鰺ヶ沢町会計決算（一般会計・特別会計・企業会計）がまとまり、町議会第３回定例会（９月７日～11日）で認定されました。
町民の皆さんや事業所などから納めていただいた税金や国・県からの交付金など、お金がどのように使われたのか、その概要をお知らせします。

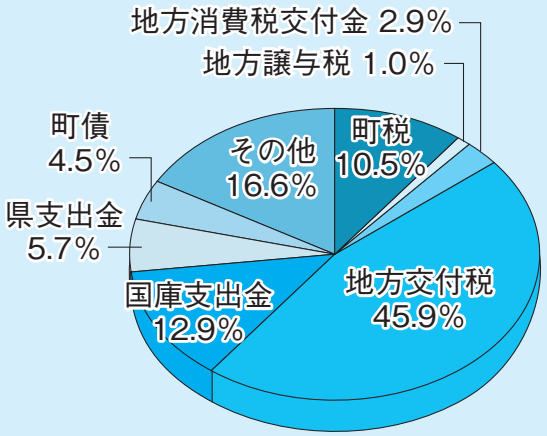
《一般会計》 ◆歳入総額 87億5,293万円 ◆歳出総額 83億2,060万円

◆一般会計決算

《一般会計とは？》福祉や教育、道路整備など、町政運営の基本となる会計のことです。

歳入合計 87億5,293万円

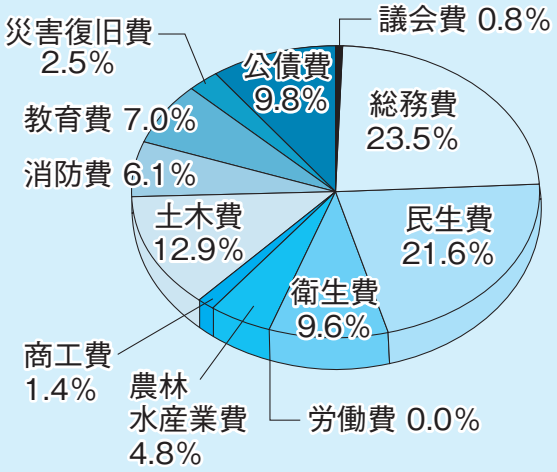
（歳入内訳グラフ）



町税	9億2,258万円
〈住民税など皆さんに納めていただいたお金〉	
地方譲与税	8,283万円
〈国税の一部を譲り受けたお金〉	
地方消費税交付金	2億5,499万円
〈消費税のうち地方に交付されたお金〉	
地方交付税	40億1,964万円
〈国から交付されたお金〉	
国庫支出金	11億2,740万円
〈特定の事業を行うために国から受けた補助金など〉	
県支出金	4億9,895万円
〈特定の事業を行うために県から受けた補助金など〉	
町債	3億9,160万円 〈特定の事業を行うために国などから借り入れたお金〉
その他	14億5,494万円 〈使用料や手数料などのお金〉

歳出合計 83億2,060万円

（歳出内訳グラフ）



議会費	6,402万円
〈議員の報酬や議会の運営に要したお金〉	
総務費	19億5,443万円
〈町の総括的な事務事業などに要したお金〉	
民生費	18億 179万円
〈子どもや高齢者、障がい者福祉に要したお金〉	
衛生費	8億 70万円
〈各種健診やごみ処理などに要したお金〉	
労働費	117万円
〈勤労者体育館などの維持に要したお金〉	
農林水産業費	3億9,593万円
〈農業、林業、水産業振興に要したお金〉	
商工費	1億1,959万円 〈商工業や観光振興に要したお金〉
土木費	10億7,161万円 〈道路や町営住宅などの整備、維持管理に要したお金〉
消防費	5億 651万円 〈消防や防災事業に要したお金〉
教育費	5億7,922万円 〈小中学校運営や社会教育活動などに要したお金〉
災害復旧費	2億 604万円 〈災害で被害を受けた施設を復旧するために要したお金〉
公債費	8億1,959万円 〈借入金（借金）の返済に充てたお金〉

令和７年度　一般会計の主な取組

●総務費
- コミュニティバス運行業務委託料　1億4,468万円
- タウンプロモーション推進事業費　850万円
- 自治体情報システム標準化対応事業　9,317万円

●民生費
- 子ども医療費助成事業　2,342万円
- 重層的支援体制整備事業　7,943万円
- 障害福祉サービス事業　4億5,681万円
- 医療的ケア児保育支援事業費　828万円

●衛生費
- 予防接種対策事業　1,878万円
- 健康診査事業　1,808万円
- 廃棄物処理費　2億3,896万円

●農林水産業費
- 中山間地域等直接支払交付金　4,314万円
- 多面的機能支払交付金　2,175万円
- 有害鳥獣対策費　796万円

●商工費
- 新型コロナウイルス感染症対策資金利子補給補助金　517万円
- 物価高騰対策生活応援商品券給付事業　1,666万円
- 町観光協会補助金　2,178万円

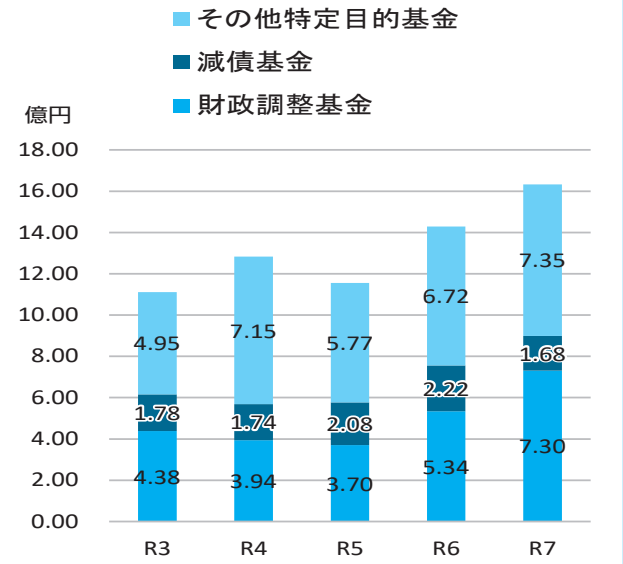
●土木費
- 除排雪業務委託料　2億3,388万円
- 道路橋梁維持・新設改良事業　3億　854万円
- 町営住宅管理費　3,102万円

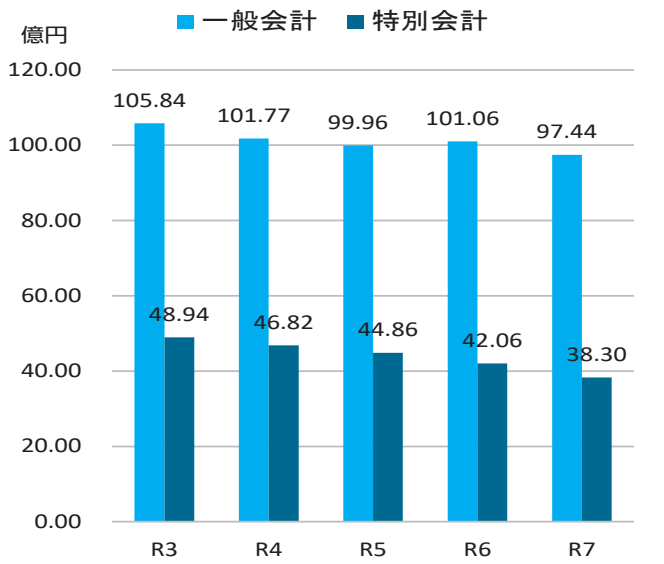
●消防費
- 空家実態調査業務委託料　600万円
- 鰺ヶ沢消防本部・署経費負担金　4億1,530万円
- 消防団ポンプ積載車購入事業　1,663万円

●教育費
- 小中学校運営費（管理費、振興費）　4,771万円
- ICT教育推進事業　3,900万円
- 室内温水プール管理運営費　3,909万円
- 光信公没後500年記念事業費　589万円

●災害復旧費
- 道路橋梁災害復旧事業　1億5,998万円
- 農地災害復旧事業　527万円
- 農業用施設災害復旧事業　4,080万円

一般会計の基金（貯金）と町債（借金）の残高の推移





鰺ヶ沢さん家の家計簿

町の決算をより身近に感じていただけるように、町の決算状況を「鰺ヶ沢さん家の家計簿」に例えてお知らせします。町の財政と一般家庭では内容が違うため、単純に比較できませんが、難しそうと思わずにご覧ください。１年間の収入（一般会計）は約87億円ですが、年収360万円（１ヶ月30万円）の家計に例えると、次のようになります。なお、令和７年度の鰺ヶ沢さん家の家計は18万円の黒字でした。

収入		支出	
給料 基本給（町税）	38万円	食費（人件費）	47万円
給料 手当（使用料、諸収入など）	21万円	光熱水費、生活用品など（物件費）	52万円
給料 ボーナス（寄附金、ふるさと納税など）	15万円	医療費・介護費など（扶助費）	41万円
親からの仕送り（地方交付税など）	247万円	家の修理など（維持補修費、普通建設事業費）	45万円
貯金の取崩し（繰入金）	23万円	子どもへの仕送り（繰出金）	23万円
銀行からの借入（町債）	16万円	貯金（積立金）	23万円
		ローンの返済（公債費）	34万円
		援助（投資及び出資金・貸付金）	0万円
		その他の生活費（補助費等）	77万円
収入合計	360万円	支出合計	342万円



令和７年度決算　地方消費税交付金（社会保障財源化分）を充てた社会保障施策に要する経費

地方消費税交付金のうち、社会保障財源化分決算額　１億4,541万円

事業名		令和7年度決算額	財源内訳			
			特定財源		一般財源	
			国県補助金	その他	**地方消費税交付金**	その他
1	社会福祉（高齢者、障害者など）	12億5,729万円	８億　310万円	8,259万円	**4,108万円**	３億3,052万円
2	社会保険（国保、後期高齢など）	５億6,480万円	１億　　0万円	0万円	**5,138万円**	４億1,342万円
3	保健衛生（予防、母子保健など）	５億4,862万円	1,474万円	5,489万円	**5,295万円**	４億2,604万円
合　　計		23億7,071万円	９億1,784万円	１億3,748万円	**１億4,541万円**	11億6,998万円

◆特別会計決算

《特別会計とは？》使用料などの特定の収入で、特定の事業を行うために、一般会計と区分した特定事業の会計のことです。

特別会計名	歳入	歳出	差引額	一般会計からの繰入金
国民健康保険事業	13億　889万円	12億2,393万円	8,496万円	１億1,924万円
小規模水道事業	552万円	329万円	223万円	198万円
墓地公園事業	54万円	2万円	52万円	0万円
介護保険事業	15億7,109万円	15億2,154万円	4,955万円	２億4,707万円
後期高齢者医療	１億7,565万円	１億7,372万円	193万円	5,962万円
水産業振興事業	5,165万円	4,351万円	814万円	1,124万円
北浮田財産区	73万円	28万円	45万円	0万円
長平財産区	40万円	8万円	32万円	0万円
浜横沢財産区	28万円	13万円	15万円	0万円
中村財産区	55万円	15万円	40万円	0万円
舞戸財産区	117万円	75万円	42万円	0万円

◆企業会計決算

《企業会計とは？》民間企業と同じように事業収益で賄われ、公営企業法に基づき、企業経営という観点から、独立して経理をする会計のことです。

◎上下水道事業の会計

上下水道事業における収益的収支とは、上下水道事業の管理運営に関する収支のことで、収入は皆さんから徴収した水道料金や下水道の使用料などです。支出は、職員の給与や施設の維持管理経費などに充てられています。

資本的収支とは、施設の建設・整備に関する収支のことで、収入は、施設建設や整備に要する企業債などの借入金、支出は企業債借入金の返済に充てられています。

◆水道事業

水道事業会計	収入	支出	差引額
収益的収支	２億5,122万円	２億4,134万円	988万円
資本的収支	4,002万円	１億5,280万円	△１億1,278万円

水道事業
資本的収支　１億1,278万円不足
過年度分消費税及び消費税資本的収支調整額　1,425万円
当年度分損益勘定留保資金　8,023万円
繰越利益剰余金処分額　1,830万円

◆下水道事業

下水道事業会計	収入	支出	差引額
収益的収支	４億3,441万円	２億8,324万円	１億5,117万円
資本的収支	４億2,718万円	５億7,949万円	△１億5,231万円

下水道事業
資本的収支　１億5,231万円不足
過年度分損益勘定留保資金　１億5,009万円
当年度分損益勘定留保資金　222万円

令和7年度決算に基づく鰺ヶ沢町財政健全化判断比率などを公表します

◆健全化判断比率

項　目	説　　明	R７	R６	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計など（普通会計）赤字の程度を指標化	—	—	15.0%
連結実質赤字比率	すべての会計を合算し、赤字の程度を指標化	—	—	20.0%
実質公債費比率	借入金の返済額などの大きさを指標化	11.9%	13.3%	25.0%
将来負担比率	借入金など将来支払う可能性がある負担額を指標化	108.3%	134.1%	350.0%

※普通会計の実質赤字及びすべての会計を合わせた連結実質赤字はありませんでした。

◆資金不足比率

公営企業の名称	説　　明	R７	R６	経営健全化基準
水道事業会計	公営企業の資金不足を、料金収入の規模と比較して指標化	—	—	20.0%
下水道事業会計		—	—	

※すべての公営企業会計で、資金不足はありませんでした。

◆一部事務組合決算

＜一部事務組合とは？＞複数の市町村などの地方公共団体が、事務の一部を共同で処理するため、地方自治法に基づいて設立する「特別地方公共団体」のことです。
※一部事務組合のうち鰺ヶ沢町長が管理者を務める２団体の決算をお知らせします。

令和７年度　鰺ヶ沢地区消防事務組合一般会計決算

【歳　入】	金　額	構成比
分担金及び負担金	９億972万円	95.2%
県支出金	1,627万円	1.7%
繰入金	2,300万円	2.4%
繰越金	336万円	0.4%
その他	316万円	0.3%
歳入合計	９億5,551万円	100.0%

【歳　出】	金　額	構成比
議会費	24万円	0.0%
総務費	4,289万円	4.6%
民生費	1,125万円	1.2%
消防費	８億8,124万円	94.2%
歳出合計	９億3,562万円	100.0%

令和７年度　西海岸衛生処理組合一般会計決算

【歳　入】	金　額	構成比
分担金及び負担金	３億6,778万円	83.5%
使用料及び手数料	2,065万円	4.7%
繰入金	2,319万円	5.3%
繰越金	2,665万円	6.0%
その他	243万円	0.5%
歳入合計	４億4,070万円	100.0%

【歳　出】	金　額	構成比
議会費	55万円	0.1%
総務費	6,769万円	17.1%
民生費	60万円	0.2%
衛生費	２億8,257万円	71.1%
公債費	4,579万円	11.5%
歳出合計	３億9,720万円	100.0%

～令和７年度ふるさと納税寄附実績報告～

全国の鰺ヶ沢ファンから１万７千件、３億６千２百万円の支援！

■ふるさと納税とは

「ふるさと納税」とは、応援したい自治体に寄附ができる制度で、寄附金のうち2,000円を超える分については、一定の限度まで所得税、住民税の控除が受けられます。

■令和７年度寄附実績と使い道

令和７年度におけるふるさと納税の寄附実績は、17,082件、３億6,213万3,000円となりました。この寄附金額は、令和６年度の105％という割合で、２年連続で増加。多くの方が鰺ヶ沢町と鰺ヶ沢町が誇る特産品等を応援してくれています。

なお、この寄附金は、「あじがさわ未来応援基金」として積み立て、「産業の振興」「教育文化の発展」「健康福祉の増進」「自治体にお任せ」「鰺ヶ沢高校応援プロジェクト」の５つ（※７年度は災害支援を含む６つ）の中から寄附者が選んだ「使い道」に関連する事業に充当して活用していくこととしています。

令和７年度では、農林・水産・商工・観光振興事業、小中学校教育振興事業、そして健康福祉に関する事業など多くの取組に活用しています。

■プロモーション強化の取り組み

町では、当町応援者の増加を目指して、ポータルサイトの追加と各サイトのページ内容の充実、返礼品提供事業者と返礼品の増加による在庫の充実を図ってまいりました。

これからも、ふるさと納税を通じて地域の魅力や誇れる町の特産品をＰＲし、関係人口を増やしていくことで地域の活性化につなげていきます。



あじがさわ未来応援基金（ふるさと納税） URL https://www.town.ajigasawa.lg.jp/gyosei_jyoho/hurusato/miraiouenkikin.html

令和７年度鰺ヶ沢町ふるさと納税寄附金（あじがさわ未来応援基金）の活用

令和７年度は、64事業に約１億６千万円の寄附金が活用されました。
毎年度、全国から寄せられたふるさと納税寄附金を活用して、多くの事業へ取り組んでいます。

使途区分	充当事業
産業の振興 5,137万円	タウンプロモーション推進事業（２件）、商工振興・中小企業対策（２件）、観光振興（４件）、水産振興（２件）、農林振興（10件）
教育文化の発展 3,581万円	文化財保護（３件）、幼児体力づくり教室・児童公園施設管理（３件）、放課後ルーム、文化・スポーツ・学校教育施設管理（10件）、ICT教育推進、スポーツ振興（３件）
健康福祉の増進 3,153万円	高齢者対策・障害福祉サービス（２件）、親子プロジェクト事業、ひとり親家庭等・子ども医療費助成（３件）、予防接種、地域子育て支援拠点事業、病後児保育事業、医療的ケア児保育支援
自治体にお任せ 3,774万円	物品管理（２件）、総合計画策定支援、バス停留場標識修繕、鰺ヶ沢まちづくり応援補助金、特定地域づくり事業補助金、白神山地交流促進施設管理、長平青少年旅行村管理（２件）、海の駅管理、おむつ助成
鰺ヶ沢高校応援プロジェクト事業　332万円	災害支援事業　100万円

活用例）　白神山地交流促進施設管理



特定地域づくり事業補助金



問企画観光課　観光商工班　☎82-0923

≪シリーズ≫

税金のあれこれ

No. 18



税金は私たちの暮らしを支えています。
この連載では、町に関わる「地方税」の種類や仕組み、よくある疑問について紹介します。

問総合窓口課　税務班（課税）☎82-0938
（納税）☎82-0588

今月の「税」のお話

「振替納税とキャッシュレス納付」

■振替納税とは

納税義務者本人の**預貯金口座からの引き落とし（口座振替）**により税金を納付することです。

町では、納税義務者の負担軽減と未納者を減らす観点から、**口座振替による納税を推奨**しています。

■振替納税（口座振替）のメリット

納入のために金融機関などへ行く**手間が省け、手数料が無料**です。

また、一度登録すれば納期ごとに引き落とされるため、**納め忘れがありません**。

■振替納税（口座振替）できる町税

▶**町県民税**（普通徴収分）
▶**固定資産税**
▶**軽自動車税**
▶**国民健康保険税**（普通徴収分）

■振替納税（口座振替）できる金融機関

▶**町内の金融機関**
▶**全国のゆうちょ銀行または郵便局**

■口座振替の手続き

口座振替に使用する**預貯金通帳と届出印を持参**し、その口座の**金融機関等の窓口で**「口座振替依頼書」を記入し申し込んでください。

なお、町外の金融機関には依頼書を備えていませんので、**町外で手続きを希望**する方は、**事前に町総合窓口課税務班（☎82-0588）へご連絡**ください。







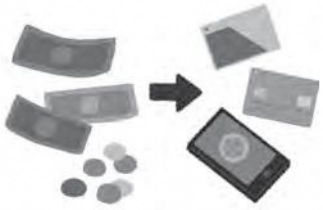
■注意事項

納期限の前日までに必ず**通帳残高をご確認ください**。

また、**口座振替済通知書（領収書）は令和8年度から廃止**となりましたので、**振替結果は預貯金通帳でご確認ください**。

■キャッシュレス納付とは

現金ではなく電子的な手段で納付する方法です。振替納付（口座振替）も直接的に現金を扱わないことからキャッシュレス納付の一種に含まれます。



■キャッシュレス納付のメリット

パソコンやスマートフォンなどで簡単な手続きをするだけで、自宅やオフィスなど場所を選ばず自分の好きな時間に納付できます。

また、納付方法によっては、ポイントが獲得できる場合もあります。（詳しくは各納付方法でご確認ください。）

■キャッシュレス納付の種類

▶**振替納付（口座振替）**
事前に届け出た指定の預貯金口座から自動的に引き落として納付

▶**ダイレクト納付**
e-TAX（国税）やeL-TAX（地方税）による簡単な操作で、事前に届け出た預貯金口座から自動的に引き落として納付

▶**インターネットバンキング等**
銀行などのインターネットバンキング口座を利用してネット上で納付

▶**クレジットカード納付**
インターネット上のクレジットカード払いを利用して「国税クレジットカードお支払サイト」や「地方税お支払いサイト」等から納付

▶**スマホアプリ納付**
国税は、「国税スマートフォン決済専用サイト」から利用する決済アプリを選択して納付
地方税は、スマホ決済アプリから納付書の「eL-QR」（二次元コード）を読み取って納付

10月の納税	**町県民税**［第３期］ **国民健康保険税**［第４期］ **介護保険料**［第４期］ **後期高齢者医療保険料**［第４期］	▸納め忘れの町税はありませんか？ ▸納期限までの納付にご協力を！ ▸税金はコンビニでも納付可能！ ▸納税は便利な口座振替で！ ▸口座振替の方は残高確認を！
納期限	**11月２日（月）**	

いきいき情報

健康や子育てに関する情報をお知らせします

新型コロナウイルスワクチン・インフルエンザワクチンの接種が始まります

町では、今年度の「新型コロナウイルス感染症」及び「インフルエンザ」の予防接種費用の助成を10月１日（木）から実施します。

新型コロナウイルスワクチンやインフルエンザワクチンは、発症や重症化の予防に効果的とされています。接種を希望する方は、流行する前の体調の良い日に予防接種を受けましょう。

なお、接種対象者や接種費用の自己負担金などの詳細は、９月24日（木）に各家庭へ配布したチラシをご確認ください。

楽しく身体を動かそう！運動教室

「最近、運動不足を感じている…」「肩こりや腰痛を予防したい」そんなお悩みはありませんか？

町では、運動の習慣がない方でも無理なく始められる「運動教室」を開催します。今年はエアロビクス、ヨガマットを使った筋トレ、ストレッチを実施します。どなたでもお気軽にご参加ください！

●**日　程**　９月30日（水）
10月７日、14日、21日（水）
11月４日（水）、10日（火）、25日（水）
●**時　間**　18：00～19：00（受付17：30～）
●**会　場**　舞戸公民館　大ホール
●**参加料**　１回200円（当日、受付でいただきます）
●**持ち物**　運動靴・飲み物・汗拭きタオル・ヨガマット（無料貸し出し有）
※申込は不要です。
※参加１回につき、あじがさわ元気健康ポイントラリーのポイントがもらえます。豪華賞品が当たる抽選に応募しましょう！



運動教室参加者限定　からだチェック

筋肉量や筋肉・脂肪バランスなどがわかる「からだチェック」を実施します。測定方法は裸足で測定機に立つだけ、測定時間は5分程度です。

●**実施日**　９月30日（水）
11月25日（水）
●**時　間**　19：00～19：30

10月の乳幼児健診日程

健　診	健診日［受付時間］	場　所	対　象	持ち物
乳児健診	10月22日(木) [13：00～13：20]	中央公民館 ２階和室	【４か月児健診】 令和８年５・６月生まれ 【７か月児健診】 令和８年２・３月生まれ 【10か月児健診】 令和７年11・12月生まれ	母子健康手帳 バスタオル
３歳児健診	10月29日(木) [12：20～12：40]		令和５年３・４・５月生まれ	母子健康手帳 バスタオル　ほか

からだすこやか栄養教室

●**内　容**　働き世代のための料理
●**日　時**　10月28日（水）　９：00～12：00（受付８：50～）
●**場　所**　鯵ヶ沢町総合保健福祉センター　栄養指導室
●**参 加 料**　300円（傷害保険料含む）
●**申込締切**　10月23日（金）
※どなたでも参加できます。食生活改善推進員伝達講習会と併せて開催します。



申・問ほけん福祉課　健康こども班　☎82-0955



がん検診を受けていますか？

毎月１日は
あじがさわ健康の日
今月のテーマ
「がん予防」

がん検診の目的は、「早期発見・早期治療によりがんで死亡するリスクを減らすこと」です。がんは、初期には自覚症状がほとんどなく、気づかないうちに進行することがあります。
「症状がないから大丈夫」「来年でいいか」と先延ばしにせず、定期的にがん検診を受けましょう。
町では、以下の年齢の方を対象に、今年度のがん検診を無料で受けられるクーポン券を発行しています。

無料になるがん検診	対象年齢（生年月日）
胃がん・大腸がん・肺がん・乳がん・子宮頸がん検診	40歳（昭和61年４月２日～昭和62年４月１日）
	50歳（昭和51年４月２日～昭和52年４月１日）
	61歳（昭和40年４月２日～昭和41年４月１日）
乳がん検診のみ	41歳（昭和60年４月２日～昭和61年４月１日）
子宮頸がん検診のみ	21歳（平成17年４月２日～平成18年４月１日）

※胃がん・大腸がん・肺がん検診は、集団検診でのみ受診できます。10月の集団検診は、３日（土）から７日（水）までです。各日程に若干の空きがありますので、受診をご希望の方はお早めにお申し込みください。
※子宮頸がん・乳がん検診は、集団検診・個別検診のどちらでも受診できます。
※個別検診の申し込みは、令和９年２月19日（金）までにお願いします。

がん検診を受けることで、自覚症状がない段階で異常に気づき、早期の対応につなげることができます。ご自身の健康と大切なご家族の安心のため、この機会にがん検診を受けましょう。

申・問ほけん福祉課　健康こども班　☎82-0955

妊娠・出産・子育てを応援します

こども家庭センターだより

里親家庭を募集しています

里親制度は、さまざまな事情で親と暮らせない子どもを自分の家庭に迎え入れ、愛情と理解を持って育てる児童福祉法の制度です。

里親には、一定期間子どもを養育する「養育里親」、専門的な支援が必要な子どもを養育する「専門里親」、養子縁組を希望する「養子縁組里親」、祖父母などの親族が養育する「親族里親」などがあります。

●里親になるまでの主な流れ

①相談 ➡ ②研修・家庭訪問 ➡ ③審査・登録 ➡ ④交流 ➡ 子どもを家庭に迎える

子どもを育てるために必要な生活費、教育費、医療費などは支給されます。
関心のある方は、下記へご相談ください。

▲弘前乳児院HP

問里親支援センター弘前（弘前乳児院）　☎0172-31-6010
西北児童相談所　☎0173-38-1555

2026年夏休みルームの様子


恒例のプラ板工作


おにぎり作り


流しそうめん


お店屋さん

申・問ほけん福祉課　健康こども班　こども家庭センター
☎82-0954　✉boshi-center@town.ajigasawa.lg.jp

NET119緊急通報システムの受付を開始しました

●NET119緊急通報システムとは

NET119緊急通報システムは、電話での119番通報が難しい方が、スマートフォンなどの簡単な画面操作で119番通報できるシステムです。インターネット接続機能を使い、消防へ通報することができます。



●利用対象者

聴覚や音声・言語機能に障がいがあり、音声による119番通報が困難な方で、鰺ヶ沢地区消防事務組合消防本部が管轄する地域（鰺ヶ沢町・深浦町）にお住まいの方、または勤務・通学している方。

●利用者登録

NET119緊急通報システムを利用するには、事前登録が必要です。

登録規約を確認のうえ、「利用登録・変更・登録抹消申請書兼同意書」に必要事項を記入し、下記へお持ちください。

登録規約と同意書は、鰺ヶ沢地区消防事務組合ホームページからダウンロードできます。

申・問鰺ヶ沢地区消防事務組合消防本部　予防警防課　☎72-4527

令和８年度鰺ヶ沢地区消防事務組合職員採用試験

●試験職種など

試験職種	職務内容	採用予定人員	採用日
消防職（高校卒業程度）	配属先の消防署で消防業務に従事	若干名	令和９年４月１日（木）

●主な受験資格

・平成６年４月２日から平成21年４月１日までに生まれた方で、高等学校卒業以上、または令和９年３月卒業見込みの方。
・普通自動車運転免許（オートマチック車限定を除く）を所持している方、または採用日までに取得できる方で、採用後、大型免許を取得できる方。
※このほか、視力、体力、居住要件などがあります。

●試験日程

試験日	場所	試験内容	合格発表（書面で通知）
第１次試験 **11月７日（土）**	鰺ヶ沢地区消防事務組合消防本部（会場は後日連絡します）	教養試験、消防適性検査、体力検査	11月下旬
第２次試験 **12月上旬予定**		作文、面接	12月下旬

●受験手続

・受験申込書は、消防本部、鰺ヶ沢消防署、深浦消防署、岩崎分署で配布します。
郵送で申込書を請求する場合は、封筒の表に「採用試験受験申込書請求」と朱書きし、140円切手を貼付した宛先明記の返信用封筒（角２号）を同封して、消防本部へ請求してください。
・申込書に必要事項を記入し、顔写真を貼付のうえ、別途写真１枚（縦４㎝×横３㎝）を添付して提出してください。救急救命士免許証または救急救命士試験の合格証明書をお持ちの方は、その写しも併せて提出してください。
郵送で提出する場合は、封筒の表に「採用試験申込」と朱書きし、下記へ送付してください。

●申込受付期限

10月21日（水）まで（受付時間　平日8：15～17：00）
※郵送の場合は、10月21日（水）消防本部必着です。

受験資格など試験の詳細は、下記へお問い合わせいただくか、鰺ヶ沢地区消防事務組合ホームページをご確認ください。（受験申込書ダウンロード可）

申・問〒038-2761　西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸385番地２
鰺ヶ沢地区消防事務組合消防本部　総務課　☎72-4527

後期高齢者医療被保険者の皆さんへ

保険料が年金から天引き（特別徴収）されている方へ

年金から徴収される保険料額は下記のとおりとなります。

4・6・8月…本年2月と同額を徴収済（仮徴収）
10・12・2月…本年7月に決定した保険料の年額から、仮徴収した額を差し引いた残額を分割して徴収（本徴収）

※徴収額は、7月にお送りした保険料額納入通知書等でご確認ください。

お薬手帳は1冊にまとめましょう

いつも診察してもらう「かかりつけ医」があると、体質や持病を理解したうえで助言が受けられ、必要に応じて専門の医療機関を紹介してもらえるので安心です。

また、普段から何でも相談できる「かかりつけ薬局」があると、複数の医療機関から処方された薬を確認し、飲み合わせのチェックをしてもらえます。

複数の「お薬手帳」を持っている場合は、薬局で1冊にまとめてもらいましょう。

問ほけん福祉課　国民健康保険班　☎82-0956

今月のイチオシBOOK

《一般書》永遠の記憶
著：東野　圭吾／出版社：文藝春秋



内海薫が刺された。犯人は70歳ほどの老人。飛び降り自殺を図るも失敗し、取り調べには黙秘を貫く。やがて内海に恨みを抱く若い娘が捜査線上に浮かぶが、老人との関係は不明。それどころか、内海への本当の復讐はこれからだった。

《児童書》めくってたのしい！しくみがわかる断面図鑑
絵：本田　隆行／出版社：高橋書店



科学の人気ジャンルがたくさん学べる！

どうぶつ、からだ、きかい、のりもの、まち、しぜん、うちゅう。

しかけをめくると、ものの断面が見えて、もののしくみがわかります。

●おすすめ本は、図書コーナーで借りることができます（新刊図書は貸出中の場合があります）。また、1人2冊までの貸出制限にご協力をお願いします。〈予約可〉

●小学生以下のお子さんを対象に、こどもブックラリーを実施しています。ぜひご参加ください。

開館時間	9：00～17：00
休館日	月・火曜日 ※第4木曜日は蔵書点検のため、図書コーナーのみ休みです。
返却場所	日本海拠点館・中央公民館・舞戸公民館

問日本海拠点館　図書コーナー　☎72-5555

国民健康保険の脱退手続きをお忘れなく

国民健康保険に加入している方が、職場の健康保険に加入したときや職場の健康保険の被扶養者になったときは、国民健康保険の脱退手続きが必要です。

マイナ保険証をお持ちの場合でも、健康保険は自動的に切り替わりません。社会保険の資格確認書または資格情報のお知らせなどが届きましたら、速やかに手続きをお願いします。

※手続きに必要な書類など、詳しくは町ホームページをご覧ください。

申・問ほけん福祉課　国民健康保険班　☎82-0956

稲わらは燃やさず有効活用を

稲わらの野焼き（露天焼却）による大量の煙や臭いは、洗濯物を汚すだけでなく、視界不良や呼吸器疾患への悪影響など、近隣住民の生活環境に大きな負担を与えます。

稲わらは燃やさず、次の方法で活用しましょう。

・**すき込み**：土壌にすき込むことで、地力の向上につながります。
・**飼料・敷料への活用**：家畜の飼料や敷きわらとして活用できます。

きれいな空気と良好な生活環境を守るために、野焼きの防止と有効利用にご協力をお願いします。

問農林水産課　農林班　☎82-0946

地域合同セミナー・相談会を開催します

町では、商工会や各金融機関と連携し、町内事業者が抱えるお悩みに対する支援をするため、地域合同セミナーと個別相談会を開催します。

●**日時**　10月19日（月）　14：00～16：00

●**定員**　30名（事前予約制）

詳しくは、下記へお問い合わせください。

問企画観光課　観光商工班　☎82-0923



年金に関するお知らせ

年金を受け取っている方へ 公金受取口座登録の意向確認書が届きます

令和８年８月頃から、日本年金機構より「年金振込口座の公金受取口座登録に関する意向確認書」が順次郵送で届きます。

これは、現在年金を受け取っている口座を、国の給付金などに使える「公金受取口座」として登録することに同意するかどうかを確認するものです。

●登録するメリット

・給付金の申請が簡単になる

・給付金をより早く受け取れる場合がある

※登録しても、口座残高などの情報が国に提供されることはありません。また、他人に預金を引き出されることもありません。

●意向確認書が届いた方の対応

・登録を希望する方は、手続き不要です。後日、デジタル庁から「公金受取口座の登録結果通知」が届きます。

・登録を希望しない方は、意向確認書下部の「公金受取口座登録不同意申出書」を切り離し、返信期限内に返送してください。

●詐欺にご注意ください

日本年金機構や厚生労働省、デジタル庁が、電話やメールで口座情報の提供を求めることはありません。

また、手数料などの金銭を求めることもありません。

公金受取口座登録制度など、マイナンバー制度に関するお問い合わせは、マイナンバー総合フリーダイヤル（☎0120-95-0178）へお願いします。

子を養育している国民年金第１号被保険者の方へ 国民年金保険料の育児免除制度が始まります

令和８年10月から、子を養育する国民年金第１号被保険者を対象に、国民年金保険料の育児免除制度が始まります。

申請により、所得に関係なく保険料の納付が免除され、免除された期間は保険料を納付したものとして老齢基礎年金の受給額に反映されます。

●対象者

令和８年10月１日以降、１歳になるまでの子を養育する国民年金第１号被保険者の実父母・養父母で、次の要件をすべて満たす方。

・子と親子関係が継続していること

・子と同一住所であること

●免除される期間

子を養育することとなった日の属する月から、１歳になる誕生日の前月までの最大12か月間です。制度開始前に生まれ、令和８年10月１日時点で１歳未満の子を養育している方も対象となります。

●申請方法

10月１日以降、次のいずれかの方法で申請してください。

・電子申請

マイナポータルから、24時間365日申請できます。電子申請の場合、添付書類は不要です。

・窓口申請

母子手帳と、養育している方・お子さんのマイナンバーカードをお持ちのうえ、鰺ヶ沢町役場１階総合窓口課５番窓口へお越しください。

※マイナンバーカードはお持ちの方のみ

申・問総合窓口課　戸籍年金班　☎82-0937

医療法人 梟衆会
七ツ石内科
鰺ヶ沢町大字七ツ石町27-1
TEL 0173-72-2879
外来診療・オンライン診療
院長　今 昭人
■受付時間／ 午前 8：30～13：00
午後 14：30～18：00
■休 診 日／ 木曜日・日曜日・祝日
広報あじがさわ有料広告

～コミュニティ助成事業～
鳴沢地区町内会連合会が備品を購入しました

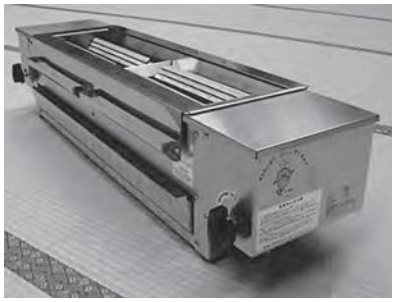
鳴沢地区町内会連合会（神孝会長）では、この度、宝くじの助成金（250万円）を受けて、ワンタッチテント、発電機、串焼き機などを購入しました。

今回購入した備品を整備することで、鳴沢地区町内会連合会が実施するイベントが効率的に展開し、地域コミュニティの推進、活性化に繋がるものと期待されます。

※この助成事業は、宝くじの社会貢献広報事業として（一財）自治総合センターが行っており、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることを目的としています。



ワンタッチテント



串焼き機



発電機

問企画観光課　企画振興班　☎82-0922

秋の全国交通安全運動

令和８年９月21日から９月30日までの10日間は、秋の全国交通安全運動期間です。交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付け、交通事故防止に努めましょう。



運動重点

1 〈歩行者〉歩行者の安全確保と反射材用品の着用促進

2 〈自動車〉夕暮れ時の早めのライト点灯と飲酒運転や「ながらスマホ」の根絶

3 〈自転車〉自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底

問総務課　総務班　☎82-0912

室内温水プールをご利用の方へ

●休館情報

休館日	内容
９月30日（水）～10月６日（火）	館内大掃除・設備機器点検
10月18日（日）	津軽地区秋季水泳競技大会

●利用時間の変更

曜日	第１回目	第２回目	第３回目	第４回目
水・木・金		13：00 15：00	15：30 17：30	18：00 20：00
土・日 祝日	10：00 12：00	12：30 14：30	15：00 17：00	

※健康維持や衛生管理のため、２時間入れ替え制となっています。

※各回に10分間の休憩時間があります。

問室内温水プール　☎72-5700

広報あじがさわ有料広告

お子さまとご家族の［日々の充実］と［将来の自立］を目標に支援活動を行っていきます

Koti

児童発達支援事業所
放課後等デイサービス［Koti（コティ）］

〒038-2733 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町館前町字後口田 28-4(旧みなみ保育園)

社会福祉法人 つくし会

0173-79-2530　月曜-金曜 9:00-16:00

受けつがれる歌と踊り
甚句とくどき
無形文化財保存会が設立60周年



鰺ヶ沢の盆踊り（昭和30年代）
昔は新地遊郭を中心に寺や町通りで行われていた



「鰺ヶ沢甚句」流し踊り（昭和50年頃）
鰺ヶ沢まつりで行われていた連合婦人会による流し踊り。中央公民館前では盆踊り大会も行われた



鰺ヶ沢高校の流し踊り（令和５年）
創立80周年を迎え、30年続く「鰺ヶ沢甚句」流し踊り。毎回、保存会が踊りの指導を行っている

「鰺ヶ沢甚句」といえば、全国的に知られた津軽民謡であり、今では、鰺ヶ沢高校の流し踊りなどでもおなじみです。実はその元を探ると、古くから鰺ヶ沢に受けつがれてきた盆踊りの文化にたどり着くのですが、皆さんはご存じだったでしょうか。

その文化継承に大きな役割を果たしてきた鰺ヶ沢町無形文化財保存会（工藤八子会長）が、今年、設立60周年を迎えました。ここで、鰺ヶ沢に伝わる歌と踊りの歴史をひも解いてみることにしましょう。

■鰺ヶ沢甚句の成り立ち

その昔、鰺ヶ沢の盆踊りは、新地町の遊郭を中心に行われていたとされます。お盆の夕暮れ時になると、踊り手たちは永昌寺の境内に集まり、先に子どもたちも交えた甚句が踊られました。〝オレの裏庭の唐辛子の花コ♪〟で始まる独特の歌と踊りは後に**「正調鰺ヶ沢甚句」**と呼ばれ、本来の鰺ヶ沢甚句とされています。この正調甚句は、北前船によって秋田・北陸地方から伝えられたとされます。

さらに夜には、遊郭街に場所を移し、付近の村々からも大人たちが集まって、夜明けまで盆踊りを踊りました。〝奥州津軽の鰺ヶ沢港♪〟と歌われる盆踊り**「鰺ヶ沢くどき」**がこれです。

この２つの盆踊り歌（正調鰺ヶ沢甚句・鰺ヶ沢くどき）をもとに、昭和29年頃、津軽民謡の礎を築いた成田雲竹と高橋竹山が、三味線リズムに合わせた新民謡を合作。〝西の八幡　港を守る♪〟と今に親しまれる**「鰺ヶ沢甚句」**がここに誕生しました。

■保存会設立まで

さて、新しい「鰺ヶ沢甚句」が全国に広まる一方で、元の正調甚句の存在は忘れ去られてしまっていました。これを何とかしようと、昭和38年頃、当時の鰺ヶ沢公民館長・大沢清三氏が中心となり、かつての歌と踊りを知る富根町の小山内しなさんを探し当て、正調甚句を復活させたのでした。

そして昭和41年（１９６６）、鰺ヶ沢町無形文化財保存会が設立。以来60年にわたって、保存・普及活動に取り組んできました。この間、昭和59年には、保存会が継承する「正調鰺ヶ沢甚句」「鰺ヶ沢くどき」が町文化財に指定されています。

■鰺ヶ沢甚句と流し踊り

一方、戦後誕生した新「鰺ヶ沢甚句」の踊りは、沿道を練り歩く流し踊りとして定着しました。平成５年からは、鰺ヶ沢高校が創立50周年を記念し、全校行事として流し踊りを開始。今では30年以上続く鰺ヶ沢の風物詩ともなっています。

どんなに古い歴史があっても、そこに残し伝えようとする人々がいなければ、文化は受けつがれることはありません。鰺ヶ沢に伝わる歌と踊りの文化は、伝統を生かしながら、その時代時代に合わせた形で人々に受けつがれ、今に生き続けているのです。

（町学芸員　中田）

無形文化財保存会　記念講演会

お宝映像と実演で見る
「鰺ヶ沢の踊りと文化」

◆講師：中田　書矢（町学芸員）
◆日時：**10月３日**（土）
10：00～11：30
◆場所：日本海拠点館１階
冬の広場

参加無料　お気軽にご参加ください。

鰺ヶ沢の民俗 ［第42回］

神宮寺の概観⑤

前号に引き続き、今号も私の近況の共有（？）を割愛し、『古文書叢書』（猿賀神社所蔵）を紹介したいと思います。どうぞ、お付き合い下さい。

猿賀山長命院神宮寺・続き

（以前の内容は8月号参照）

その後延暦十四年、乙亥の年、田村麻呂は征夷大将軍となり東夷征伐の宣旨を蒙り、数万の軍兵を従えてこの地にやってきたが、夷狄山野に集まって雨のように毒矢を放ち、川や海では刀を電光のように振る。人倫として容易く戦に勝つことは難しく、田村麻呂は神仏に帰依して感応を仰いだ。そのとき、忽然に夜叉形の神が現れて将軍田村麻呂を護衛した。夷狄は朝露が日光で消えるように屈し、その夜叉形の神とは今の深砂大権現（じんしゃだいごんげん）である。また外の人間が日本へやってきて同じように将軍に付き添ったというのも、今の御地である。都保の石文をもって夷地の境界をなしているという。

（後略）

「延暦十四年」は、795年のこと。また、「都保の石文」というのは、青森県上北郡七戸町にある「坪の石文」のことであると考えられます。（旧天間林村坪にあったと言われている伝説の石碑。楠美鐵二編『青森県百科事典』1981年、東奥日報社）。

『古文書叢書』は、まだまだ後に続く記述があるのですが、とりあえずはここまでの紹介として、後略したいと思います。

以上、西谷彪逸氏が記した神宮寺の由緒を提示しましたが、詳細の不明な人物の名前が含まれていたり、特定できない地名等が含まれていたりしていて、理解が及ばない部分があるものの、大まかな内容は確認できました。よって、次号からは、当文が示す内容を細分化し、要素を抽出しながら見直していきたいと思います。

まずは、あまり聞きなじみのない神「深砂大権現」を覚えておいていただけますと幸いです。乞うご期待。

（青森県民俗の会　櫻井歓太郎）



野辺地西高校の生徒に声援を送るツアー参加者
同校は平成12年から自主制作の山車で参加してきた



見学途中に出会った宮下宗一郎青森県知事、野村秀雄野辺地町長を囲んで。宮下知事は昨年の白八幡宮大祭に参加しており、野村町長も見学に来ていた

のへじ祇園まつり
見学ツアーに行ってきました！

８月23日、鰺ヶ沢町民を対象とした「のへじ祇園まつり」見学ツアーが開催されました。ツアーは、鰺ヶ沢町と共に日本遺産・北前船寄港地に認定されている野辺地町が２町の交流を目的に企画。鰺ヶ沢町から16名が参加しました。

この日は祭りの最終日で、参加者は、ガイドの案内で野辺地町内の史跡をめぐった後、祭りの神輿と山車行列を見学。各町内祭典部などの山車９台が「祇園囃子」「神楽」の２つのお囃子（はやし）とともに練り歩く、にぎやかな祭りの雰囲気を楽しみました。中でも、来春五戸町に移転する野辺地西高校の山車は、今年で最後の運行となることから、ツアー参加者も沿道の観客と一緒になって盛んに声援を送っていました。

野辺地の山車は、毎年新しい題材で人形を作る「風流（ふりゅう）山車」が主流です。これは、毎年違う山車を出して、神様や見る人を喜ばせたり、驚かせたいという野辺地の町人気質によるものとされています。白八幡宮大祭と同じ北前船によって伝わったとされる京祭りですが、伝統性を重んじる鰺ヶ沢の山車と、きらびやかに飾る野辺地の山車に、それぞれの町で育まれてきた独自の「よさ」があると感じました。

のへじ祇園まつりは毎年開催されているので、ぜひ一度ご覧になっておくことをおすすめします。　（町学芸員　中田）

日本海拠点館で「のへじ祇園まつり」ガイドブックを無料配布しています

青森県民専用 こどもオンライン診療

青森県では、スマートフォンやパソコンを使い、ビデオ通話で医師の診察や薬の処方を受けられる「こどもオンライン診療」を実施しています。

この事業は、令和７年10月１日から「青森県小児科オンライン診療」として開始されましたが、低年齢のお子さんは対面診療を基本としているため、令和８年６月15日から対象者と名称が変更されました。

●オンライン診療とは

・ご自宅などからスマートフォンやパソコンを使って、画面上の医師と対話し診療を受けます。
・お薬は、事前に指定した調剤薬局で、薬局の営業時間内に受け取ります。
・早急に検査や処置が必要と判断された場合は、救急車や救急病院での対面受診につなぎます。

●対象者

青森県内に住所がある４歳～18歳の方
（18歳に達する日以後の最初の３月31日までの間にある方）

●受付時間　６：00～20：00（平日、土日祝日とも）

※オンライン診療の対象となる症状など詳しくは、ホームページをご覧ください。

問青森県こども家庭部こどもみらい課　家庭支援グループ
☎017-734-9295　✉kateishien@pref.aomori.lg.jp

北海道青森周遊カードラリーイベントを開催します！

北前船がつないだ７つの港町をめぐるカードラリーイベントを開催します。２つ以上の港町を巡り、カードを集めて、5,000円相当の名産品をゲットしよう！

●期間　10月31日（土）まで

●７つの港町　北海道／松前町、函館市、小樽市、石狩市
青森県／野辺地町、鰺ヶ沢町、深浦町

詳しくは、北前船公式サイトをご覧ください。

問北前船日本遺産推進協議会北海道青森ブロック（函館市観光部観光推進課）
☎0138-21-3499　✉hako-kan2@city.hakodate.hokkaido.jp

シライチモーデ2026参加者募集！

「シライチモーデ」は、地図を片手に、世界自然遺産・白神山地を囲む自然や地域の文化を楽しみながら巡るサイクルイベントです。

決められたコースはなく、制限時間内にミッションなどを巡って得点を集めます。

地域ならではのエイドステーションや人々との出会い、ここでしか味わえない景色や食文化を楽しみながら、白神の魅力を体感してみませんか？

●開催コース

10月10日（土）八峰町→深浦町
10月11日（日）深浦町→鰺ヶ沢町
10月12日（月・祝）鰺ヶ沢町→弘前市

●参　加　費

ソロ　5,000円
チーム（２～３人）4,500円／人
チーム（４～５人）4,000円／人

※保険料、参加賞、エイドステーション利用料、荷物運搬費などが含まれます。

●申込方法　９月30日（水）までに、二次元コードからお申し込みください。

問環白神エコツーリズム推進協議会
☎0185-79-2115
✉contact@shirakamisanchi.org

各種相談窓口のご案内

仕事や健康、生活に関する相談窓口を掲載しています。内容や日程を確認し、必要に応じて各連絡先へお問い合わせください。

名　称	日　時	場　所	主な相談内容	問い合わせ
労働相談会	10月６日（火） 13：30～15：30 10月25日（日） 10：00～12：00 ※随時受付、予約優先	県労働委員会 （東奥日報 新町ビル４階）	個々の労働者と事業主との間に生じた労働問題（解雇・賃金引き下げ・長時間労働・パワハラなど）について相談に応じます。	青森県労働委員会事務局 ☎017-734-9832
脳の健康チェック お薬相談会	毎月11日（いちいの日） ※予約不要	いちい薬局 鰺ヶ沢病院店	記憶力・注意力などのチェックやお薬に関する相談を受け付けます。	いちい薬局 鰺ヶ沢病院店 ☎82-0099
オンライン 相談ブース	月～金曜日 ９：00～17：00	町中央公民館１階	PC画面を通じて、ハローワーク窓口の専門スタッフがお仕事の相談に応じます。	五所川原 公共職業安定所 ☎0173-34-3171
こころの 健康相談	10月８日（木） 13：00～14：00 ※２日前までに要予約	青森県西北保健所	不安やストレス、心の悩みなどの相談に応じます。	青森県西北保健所 ☎0173-34-2108

今月の戸籍の窓

８月16日～９月15日届出分
※関係者に確認のうえ、了承を得た方のみ掲載しています。

お悔やみ申し上げます

村上巳恵	（63歳）	本町一丁目	神　キクヱ	（100歳）	湯舟町
寺沢君雄	（76歳）	赤石	北嶋トミエ	（91歳）	みどり団地
舛野正剛	（88歳）	湯舟町	一戸進	（70歳）	中村町
世永リキ	（89歳）	赤石	今　勇造	（89歳）	保木原
本間家大	（88歳）	小ノ畑	佐藤美加子	（53歳）	小夜
櫛田弘子	（90歳）	新町	唐牛勝雄	（89歳）	上野

鰺高通信

○あおもり創造学 紹介

今回は、鰺ヶ沢高校「あおもり創造学」のフィールドワークについて、１年の蝦名宇美羽さんが紹介します。

私たちは、「あおもり創造学」のフィールドワークの授業で、鰺ヶ沢町のさまざまな場所に足を運び、農業・漁業・サービス業などの、鰺ヶ沢町を支える基幹産業について学びました。牧場や農園、ホテル、商店、漁業協同組合などの協力を得て、鰺ヶ沢町を活性化するために、それぞれの事業所が行っている工夫や努力、そして今後の課題を肌で感じることができました。取材を通じて、将来に向けて、私たちもそれらの課題の解決策を考えることの大切さを実感しました。これからも、引き続き課題解決のための考察を進めながら、地域社会への理解を深めていきたいと思います。


長谷川自然牧場


川田アスパラガス農園


きくや商店


鰺ヶ沢町漁業協同組合


ホテルグランメール山海荘

問青森県立鰺ヶ沢高等学校　☎0173-72-2106　HP：https://www.ajigasawa-h.asn.ed.jp/

法テラス鰺ヶ沢通信 Vol.131




村山弁護士

夏の思い出

青森県への赴任が決まった時からねぶた祭を見に行きたいと思っていたため、五所川原の立佞武多を見に行きました。

20メートル以上ある立佞武多は、圧倒的なスケール感で、その迫力に驚かされました。また、町全体が一体となって祭りを作り上げ、盛り上げようとするエネルギーに感動しました。

来年には「弘前ねぷたまつり」や「青森ねぶた祭」を見に行き、地域ごとに異なるそれぞれの魅力を体感したいと思います。また、京都の祇園祭の流れをくむと言われる「白八幡宮大祭」を見たいと思っていますが、私が鰺ヶ沢に在任する期間中に見ることができないのが残念です。いつの日か旅をした際に見てみたいです。

弁護士　村山　創太郎

法テラス鰺ヶ沢法律事務所の概要

◆所 在 地　〒038-2761
鰺ヶ沢町大字舞戸町字後家屋敷9-4
鰺ヶ沢町総合保健福祉センター内

◆業務時間　平日　9：00～17：00
（土・日・祝日・年末年始は休業）

◆電話番号　050-3383-8369

◆取扱業務　借金整理、金銭トラブル、離婚、相続、不動産、労働問題、刑事事件など

◆弁護士に依頼する方法
まずは、**お電話**で法律相談を**ご予約**ください。

※原則として、法律相談は事務所にお越しいただき、対面で行います。ただし、来所が困難な場合は、弁護士による出張法律相談や電話相談に対応できる場合があります。

※収入や預貯金が少ない方は、同じ問題について３回まで無料相談ができる場合があります。

～鰺ヶ沢町にお住まいのみなさまへ～

弁護士に相談することなのか分からない場合でもお気軽にお電話ください。

広報あじがさわ №665（令和8年9月24日発行）
発行・編集：鰺ヶ沢町総務課　青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸321
TEL：0173-82-0911　FAX：0173-72-2374
広報広聴担当アドレス：ajkoho@town.ajigasawa.lg.jp

公式WEBサイト

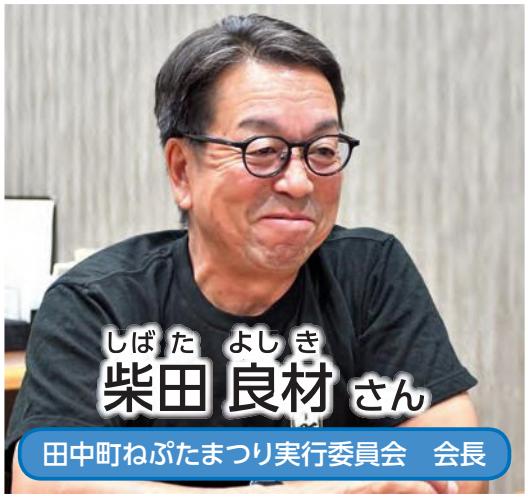
公式LINE

あじ行く？インスタ

公式X

わたしの
We Love あじがさわ 4

＼町で暮らし、学び、働く人たちにインタビュー！／



柴田（しばた） 良材（よしき） さん

田中町ねぷたまつり実行委員会　会長

Q. 田中町ねぷたを10年ぶりに再開したきっかけは？

A. 鰺ヶ沢のねぷたを知らない子どもが大勢いることに衝撃を受けたのがきっかけです。先人から受け継がれてきたねぷた文化を後世へつなぎたいと思い、再開しました。

Q. 幅広い世代が楽しめるよう、どのような工夫をしましたか？

A. 飛び入りで踊ってもらえるよう、流行の曲を取り入れ、振り付けも考えました。子どもたちから「来年も出たい」と言ってもらえたことがうれしかったです。

Q. これからの鰺ヶ沢が、どのような地域になってほしいですか？

A. 若い人が住みたいと思える魅力がある町になってほしいです。今回のねぷたも人手が足りず、他の町内会の協力を得て実現しました。地域の垣根を越えて支え合い、町全体で力を合わせることが大切だと思います。

≪広報担当取材ノート≫

「来年もねぷたを出します！」と力強く宣言した柴田さん。最後に鰺ヶ沢の好きな場所を聞くと、近所の防波堤から望む岩木山を挙げ「海と山を同時に眺められる鰺ヶ沢ならではの風景だ」と答えてくれました。

まちのわだいに載せきれなかった1枚！



赤石ねぷたを盛り上げた喧嘩太鼓



出動準備完了!!

町長のひとこと Vol.5



昭和52年あすなろ国体から49年

始めに、この度の大雨災害により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。町では、引き続き復旧・復興に向け、全力で取り組んでいきます。

さて、あおもり国スポの会期前競技が始まり、県勢の活躍がテレビや新聞で報道されています。（以前の名称は「国体」）

こうした中、９月13日の東奥日報朝刊一面に「49年前交流あの高校生は―」という記事が掲載されました。

昭和52年の青森国体ライフル射撃競技に出場した京都の選手が、閉会式で交流した当時の鰺ヶ沢町の高校生と、49年ぶりに再会したという内容です。

鰺ヶ沢町は昭和52年国体においてライフル射撃競技の会場となり、町にとって大きな「レガシー（遺産）」の一つとなりました。しかし、49年という歳月が流れ、当時を知る方も少なくなり、記憶も次第に薄れつつあります。

『鰺ヶ沢町史　第二巻』には、ライフル競技会場に決定した際に町民が歓喜したこと、国体成功に向け実行委員会を組織し町を挙げて選手団を迎えたこと、花づくりや体力づくり、親切運動などに取り組んだこと、宿泊施設だけでは受け入れられないため町民宅を民宿として提供したこと、選手との交流会が開催され多くの町民が参加したことなどが記されています。

そして最後に「鰺ヶ沢町始まって以来な（無）かった町民の団結を生み、国体成功に向かって二万町民の心は一つに解け合った」と記されています。

今回再会された京都の方も、当時の町を挙げての温かい歓迎に深く感動されたと話しておられました。国体成功のために尽力された町関係者、当時の町民の皆さんのご苦労が「感動の49年ぶりの再会」の土台になったのだと、当時のことに思いを馳せています。

町の人口（８月末現在）

男 3,810人（－ 3）　女 4,264人（－ 6）
計 8,074人（－ 9）　世帯数 4,248（＋ 5）
※（　）は先月との比較

交通事故発生状況（８月中）

発生件数 6件（－ 3）　死 者 数 0人（－ 1）
傷 者 数 9人（＋ 1）　※（　）は前年との比較
■鰺ヶ沢警察署交通課（☎72-2151）